

平成24年6月29日
水産庁

水産物の市況について（平成24年6月及び7月）

—東京都中央卸売市場における平成24年6月（平成24年5月21日～6月20日集計）の市況と、
平成24年7月の市況見通し（前月との比較）—

I 平成24年6月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量（水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計）は前月と比べ増加となり、卸売価格（水産物全体の1キログラム当たり平均価格）はやや弱含みに推移しました。

II 平成24年7月の主要品目の市況見通し

「まいわし（生鮮品）」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。（主漁場は犬吠埼沿岸・山陰沿岸、サイズは中羽。）

「さけ・ます（塩蔵品・冷凍品）」

入荷量は新物トキサケやベニサケが季節的に多くなるものの、冷凍原料、製品は減少するため、全体では前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「さば（生鮮品）」

入荷量は前月並と見込まれるものの、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。（主漁場は犬吠埼沿岸、駿河湾から伊豆諸島周辺。魚体は大きめ。）

「するめいか（生鮮品・冷凍品）」

入荷量は前月と比べ増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。（日本海の漁場は魚群の北上とともに奥尻島付近から金沢に形成。主漁場は能登半島沖合から新潟沖合。）

「あじ（生鮮品）」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。（主漁場は山陰沿岸、九州西方海域。盛漁期を終え、水揚げが減少している。）

「まぐろ（冷凍品）」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は赤身類はやや弱含み、脂身類は横ばいに推移すると見込まれます。

「かつお（生鮮品）」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。（魚体は特大・大が少なくなり、中～極小型まで幅広い。）

凡例（目安）

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加（減少）	やや強（弱）含み
11～20	増加（減少）	強（弱）含み
21～50	かなり増加（減少）	かなり強（弱）含み
51～	大幅に増加（減少）	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	6 月		前 月		前 々 月	
	入荷量	価 格	入荷量	価 格	入荷量	価 格
24年	47	788	41	810	46	846
前年	49	825	48	835	50	793

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	6 月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	480	145	104	118
さけ・ます(平均)	499	85	66	79
(ぎんざけ塩蔵品)	618	100	79	90
(あきさけ塩蔵品)	477	100	78	109
(ときさけ塩蔵品)	927	100	108	118
(べにざけ塩蔵品)	729	100	77	78
(さけ類冷凍品)	445	84	62	75
さば(生鮮品)	352	112	110	103
するめいか(平均)	393	85	81	94
(生鮮品)	397	66	76	90
(冷凍品)	384	107	95	112
あじ(生鮮品)	484	93	81	95
まぐろ(冷凍品)	1,294	92	90	95
(めばち冷凍品)	948	95	90	99
(きはだ冷凍品)	988	102	99	109
(くろまぐろ冷凍品)	3,008	75	93	87
(みなみまぐろ冷凍品)	2,761	111	112	117
かつお(生鮮品)	1,031	131	117	129

注1:品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2:6月の価格は1~20日までの速報値。平年とは平成19年~23年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 杉田、庄田

直通 03-3591-5612